

抽水所
爆発

再稼働はあり得ない

大阪市議会建設港湾委 井上議員が質問

5月23日の大阪市議会建設港湾委員会で、日本共産党の井上浩議員が、2024年9月に長堀抽水所雨水滞水池（西区）で、建屋内にたまったメタンガスによる爆発事故が発生した後の対応について質問しました。

ことし3月に開かれた3回目の住民説明会では、施設の再稼働に反対する意見なども寄せられています。

井上氏の質問に対し建



井上浩議員

設局は、「具体的な再発防止策をまとめ、説明したい」と答弁。井上氏

は、「メタンガスが建屋内に入らない技術的な仕組みなどが科学的に確立されていないなら、再稼働はあり得ない」と強調しました。

井上氏は、同市城東区内で5月10日に発生した漏水事故の原因や再発防止策についても質問しました。水道局は答弁で、

るなど、老朽化が原因だとしました。

水道局は「水道施設整備中長期計画」（2024年5月）に基づき、水道管の更新を計画的に進めていると答弁。城東区で漏水した水道管は当面の更新対象ではなかったが、劣化状況の調査や現場付近の土壌などを分析し、その結果に応じて取り替えの必要性を検討すると答えました。

漏水した水道管は、従来
の铸铁に比べ衝撃に強い
ダクタイル铸铁管（口径
50センチ）と説明。19
66年の敷設後59年を経
過し、漏水箇所には45センチ
×65センチ大の穴が空いてい